



## 防災カフェ ☕

## — 雪の事故にご用心 —

一年のうちで積雪量が一番多い2月から、気温が上昇してくる3、4月にかけては、なだれや落雪等に対する注意が必要です。

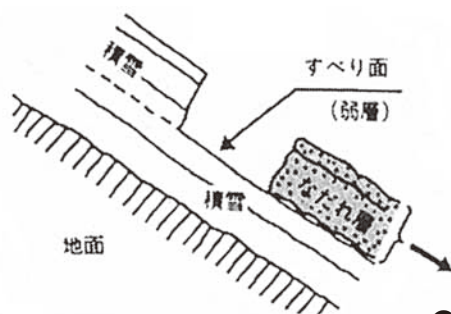
なだれは、斜面に積もった雪が滑り落ちる現象で、古い積雪の上に新たに降り積もった雪が滑り落ちる「表層なだれ」と、気温の上昇や雨により解けた水で地表面が滑りやすくなり、すべての積雪が滑り落ちる「全層なだれ」があります。どちらも木々をなぎ倒し、建物を破壊してしまうほどの力を持っており、表層なだれの速さは新幹線と同じくらい、全層なだれの速さは自動車と同じくらいになるため、目の前でなだれが発生すると、あっという間に巻き込まれてしまいます。気象台からは「24時間に30cm以上の降雪」、あるいは「50cm以上の積雪で、日平均気温5℃以上」と予想されたときに、なだれ注意報が発表されるので、そのような場合にはなだれ発生危険を想定した行動をとりましょう。

市街地においては、屋根から落ちる雪や氷、つららにより、歩行者がケガをしたり、死亡したりする事故が起きており、屋根からの落雪などには特に注意が必要です。軒先を通る場合は落雪などに十分に注意するとともに、軒先では子どもたちを遊ばせないようにしましょう。屋根の雪下ろしをする際は、屋根の下に人がいないことを確認するとともに、命綱を装着し、複数人で行うなどの処置を確実にいきましょう。

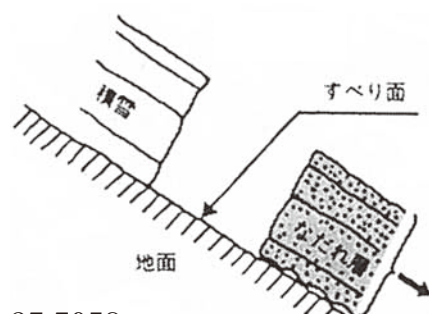


この時期は、雪に対するちょっとした油断が大きな危険を招きます。日頃から気象情報に気をつけるとともに、身近にある危険を予測し、防止するよう行動しましょう。  
※令和3年3月2日、国道452号で走行中のトラックがなだれに巻き込まれる事故も発生しています。

▼表層雪崩…すべり面が積雪内部にある。



▼全層雪崩…すべり面が地面にある。



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

### ■令和3年中における火災の概要



令和3年中の芦別市における火災件数は8件で、内訳は建物火災7件、その他火災1件となっており、前年と比べて4件増加しています。

また、火災により1人の死者が発生しています。出火原因については、燃焼機器からの出火や、ごみ焼等から建物へ延焼するなどしておりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106